

# YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI 会長 / ステファニー・アーチック  
RI.D2590 ガバナー / 長戸はるみ  
横浜旭RC 会長 / 北澤 正浩

ガールスカウト  
とクリーン作戦



第11回 チャリティーコンサート

国際ロータリー第2590地区

## 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33 / 〒241-0836  
TEL.080-1215-6668 / FAX.045-362-0024  
<http://yokohamaasahirc.org>  
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3 / 4F コミュニティサロン  
例会日 月 3 回 水曜日 / 12時30分 ~ 1時30分

2024年9月4日 第2554回例会 VOL.56 No.7

- 司会 SAA 関口 大樹
- 開会点鐘 会長 北澤 正浩
- 斉唱 君が代、奉仕の理想
- 出席報告

会員数	20名	本日の出席数	12名
本日の出席率	63.16%	修正出席率	70.00%

- 本日の欠席者  
日向、草柳、中谷、二宮、佐藤 (勉)、関澤、宋
- オンライン出席 佐藤 (真)、福村
- 他クラブ出席者 岡田 (地区)
- ビジター 樋口 明 PG (神奈川 RC)
- ゲスト  
方 しおん様 (2024-25年度グローバル奨学生)  
宋 潤 坤様 (米山奨学生)  
中島 徹様 (例会見学者)
- 誕生日祝 増田会員 9.20



### ■快気祝い 目黒会員



### ■会長報告 北澤 正浩

皆様、こんにちは。  
本日は、穏やかな天候に恵まれ、今までのような厳しい暑さもなく、過ごしやすい一日となっております。しかし、先週を振り返ると、台風10号の影響で多くの方が不安な日々を過ごされたことを思い出します。被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

私自身、建設業に従事しており、台風への備えや、万が一の場合に備えた対応に追われる毎日でした。特に今回の台風10号は、予想を大きく外れた進路を取り、対応に大変苦労しました。

まだ9月は台風の多い月であり、上陸の可能性も高いと予測されています。皆様も引き続き

十分な注意を払い、お過ごしください。

話は変わりますが、イスラエルとパレスチナの問題に関して、激しい戦闘が続いており、国際社会は何度も停戦を試みてきましたが、交渉は依然として停滞しています。しかし、皆さんもご存知のように、パレスチナ自治区ガザでは、ポリオワクチン接種のための一時的な戦闘休止が始まりました。ポリオに関しては新川会員に詳しく説明していただくのが適切かと思いますが、ガザでは先月、25年ぶりにポリオ感染が確認され、流行の懸念が高まっています。特に乳幼児に感染するリスクが高く、手足の麻痺や最悪の場合、死亡に至る可能性があります。現在、ガザでは64万人の子供が接種の対象となっており、中央部に続き、南部、北部でも接種が進められるそうです。

ポリオ感染は、日本ではあまり認識されていないように感じますが、国際社会では深刻な問題とされていることを強く感じました。そして、皮肉なことに、これまで実現が難しかった一時的な戦闘休止が、ポリオという病気を契機に実現されたことに考えさせられます。

ガザの子供たちは、戦闘が再開されれば再び空爆などで命を落とす危険にさらされます。恒久的な停戦が一刻も早く実現することを心から願っています。

本日の卓話は2024年度グローバル奨学生の方しおんさんです。とても優秀な経歴をお持ちのかたです。卓話を楽しみにしております。

■幹事報告 市川 慎二

○例会臨時変更のお知らせ

横浜緑 RC 10月30日(水) 夜間移動例会

横浜田園 RC 9月24日(火)

職場見学(車両工場視察)

■ニコニコBOX

樋口 明 PG(神奈川東) / 方さんいよいよ出発ですね。本日の卓話を楽しみにしております。貴クラブには、方さんのスポンサークラブとしてお世話になります。よろしく願い申し上げます。増田嘉一郎 / 毎年の決まり文句です。「今年も夫

婦で誕生日祝をいただきありがとうございます。』

新川 尚 / ①方しおんさん、本日の卓話宜しく願います。②樋口パストガバナーようこそ!

安藤 公一 / 方しおんさんようこそ。卓話宜しく願います。

五十嵐 正 / ①しおんさん、グローバル奨学生合格おめでとうございます。研究楽しんで来てください。②目黒さん、お大事になさってください。

北澤 正浩 / ①樋口パストガバナー、中島様ようこそいらっしゃいました。②方しおんさん、卓話よろしく願います。

市川 慎二 / ①方しおんさん、本日の卓話よろしく願います。②樋口パストガバナー、中島様ようこそお越し下さいました。

田川 富男 / ①方しおんさん、おめでとう。グローバル補助金を生かして頑張ってください。②樋口パストガバナー、昨年中は色々ありがとうございました。

岡田 隆 / ①樋口パストガバナーをお迎えして。②ゲスト中島様ようこそ。③方しおんさん、本日の卓話楽しみです。

目黒 恵一 / ①しおんさんグローバル奨学生、合格おめでとうございます。②久しぶりです。昨日退院しました。

■卓話 大学院留学前プレゼン

2024-2025年度ロータリー財団

グローバル補助金奨学生 方(ばん)しおん



皆様こんにちは、この度2024-25年度ロータリー財団グローバル奨学生としてイギリスに留学します方しおんと申します。本日は貴重なお時間をいただきまして誠にありがとうございます

います。今週土曜日からイギリス、ロンドンのUCL(University College London) ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンで勉強してまいります。それに先立ちまして、今回勉強する内容や将来のビジョン等をお話させていただきます。

## ●自己紹介

### 自己紹介

・家族構成：3人姉妹長女

・趣味：ハイキング



まず自己紹介、それから将来のビジョン、そして留学先のホストクラブのご紹介をさせていただきます。改めまして、私は方(ばん)しおんと申します、神奈川県横浜市旭区で生まれました。父親が韓国人で日韓ハーフなので、韓国語の読み方で方(ばん)と読みます。勤務先はPwCサステナビリティ合弁会社、監査法人の中にある外資系コンサルティング会社で働いておまして、特にサステナビリティ経営についてアドバイスをするという会社におまして、新卒で入社して4年目となります。クライアントは主に日本の大企業の方々に、その大企業のバリューチェーンを分析しまして、自然資源、鉱物・水とかそういったものにどのように依存しているか？どのように影響しているかを評価しまして、そこからどのようにビジネスになり得るかということをおアドバイスするという仕事を主としておりました。留学先はユニバーシティ・カレッジ・ロンドンで専攻は Prosperity, People and Planet というのですが、直訳すると繁栄、人々、地球という少し分かりにくいのですが、こういったコースに行かせて頂きます。

そもそも留学するに至った背景ですが、小学3年生の時に行ったアフリカの貧困に関する写真展がきっかけでした。自分が望んでアフリカに生まれたわけではないのに、子どもたちはご飯を食べられなかったり、学校に行けない。毎日水汲みをしている現状を知りまして、私は恵ま

### 留学に至った背景：「持続可能な発展」への関心

・小学3年生の時に行ったアフリカの貧困に関する写真展  
「なぜ世界には貧富の格差があるのか？」

➡ 大学で国際関係学を専攻

・環境破壊、人権侵害、経済格差などを解決するためには**ビジネス変革**が必要

➡ サステナビリティ経営コンサル

・「本当に持続可能なのか？」

➡ エコロジー(生態)経済学



れた先進国、日本という国で生まれた者として、世界の格差問題・貧困問題に取り組んでいきたと思いました。

なぜ世界にはこのような貧富の格差があるのかということをおずっとお思いおまして、大学では国際関係学を勉強して、その格差問題の要因を研究しました。その時に学んだこととして、最近の環境破壊、経済格差、貧困、人権侵害といったもの要因のひとつは欧米諸国による植民地政策があるということが分かってきました。

昨今では大きな多国籍企業によって同じような構造が維持されてきてしまっていて、本当にこれらの問題を解決するためにはビジネスの変革が必要ではないかと考え、いまの仕事に就職しました。

## ●留学先での勉強内容

今の職場の中でどうやってビジネスをより良いビジネスにしていくか、環境汚染や人権侵害をしないで環境社会にいい影響を及ぼしながらビジネスを続けていくにはどうしたらいいかというアドバイスをしながら仕事をしてきたのですが、本当に大規模なバリューチェーン、途上国から資源を輸入して、加工して売る、この大きな構造のまま環境負荷を変えても、本当にそれで持続可能なのか？もっともっと根本的に、ビジネスの規模を縮小したり、地産地消型のビジネスモデルに変えていくことが必要なのでは

留学先 UCLグローバル繁栄研究所

UCL メインキャンパス UCL Eastキャンパス (東ロンドン)



電車で40分程

Institute for Global Prosperity



出典：UCL HP

ないかと思うようになりまして、サステナブルなものを研究、分析できるエコロジー経済学という分野に行きつきました。

この分野の研究ができる大学をいくつか見つけ、その一つがイギリスにある UCL グローバル繁栄研究所というところになります。メインキャンパスは大英博物館の向いにあるすごく有名なキャンパスなのですが、私のキャンパスはそこから電車で 40 分位離れた東ロンドンにある UCL 東キャンパスになります。

ここで地球環境の限界に収まる環境・社会・経済制度に関する概念と分析手法について学びます。エコロジー経済の考え方として、経済活動と社会というのはそもそも有限な地球というところを前提に成り立っていると考えています。地球が健全でなければ経済社会も不安定になって共振性が保たれないという考え方です。この図の、ドーナツ経済の考え方なのですが、一番外側の丸が地球の限界と言われるものです。7つの項目がありまして、例えば土地

専攻課程 MSc Prosperity, People and Planetで学ぶこと

- 地球環境の限界に収まる、社会・経済制度に関する概念と分析手法
  - エコロジー(生態)経済学を基盤とする
  - 制度：ウェルビーイング指標
  - 実行策：資源循環型経済、再生農業
- 1997年に世界で初めて生態系サービスの経済価値を試算した教授などが在籍



利用の変化や気候変動があります。限界値が上がっていきまして、その一定値を超えてしまうと、取戻しのつかない、環境に不可逆的な変化が起こってしまっていて、人々の生活をも脅かす、というものが地球の限界と呼ばれるものです。

我々はその地球の限界を超えずに経済社会をやりつつ、でも社会的に豊かになることも大事、例えばちゃんと食事が出来る、ですとか仕事を得ること、それが不足すると貧困状態に陥ってしまうので、内側の緑が社会的な基盤、外側の黄色い部分が地球の限界、その間のドーナツ

の部分でいかに経済を回していくかということが大事だということになります。ではその間のドーナツで人々が暮らしていくには具体的に何が必要なかということ勉強するコースになっています。

例えば一つの制度として、ウェルビーイング指標というのがありまして、これまで経済成長だけで社会の豊かさは測られてきましたが、より今後は人々が環境的にも社会的にも生きられる世の中を測る指標があったり、あとは資源循環型経済や再生農業といった環境に配慮しながら政策を行う手法・施策を学んでいきます。

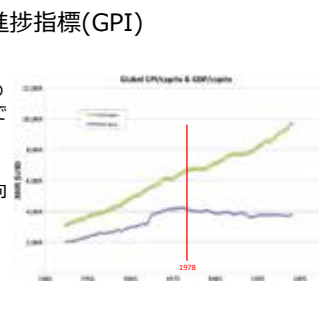
私がこのコースに決めた理由の一つが、エコロジー経済学という生態系と経済の接点について学ぶ分野の第一人者の先生がいらっしゃいまして、ロバート・コスタンザ先生でして、この方が 1997 年に世界で初めて生態系サービス、生態系サービスというのは我々は生態系から受けいている恩恵のことを言います。例えば水の供給など、自然から受けている恩恵、経済価値を初めて試算した方です。

先ほどウェルビーイング指標についてですが、いま GDP 国内総生産が一般的な経済指標として使われていますが、その代替として真の進捗指標 GPI というものを提唱している教授がいらっしゃいます。GPI は GDP の消費支出額を基本に経済・社会・環境側面から人々の生活がどの程度順調かということ測る指標です。

少しデータは古いのですが、1950 年から 2003 年の先進国 17 国 GDP 推移ののグラフを見た時に、GDP は上の緑色のグラフで右肩上がりで上がっているのですが、GPI は 1978 年くらいで停滞している。ということは物質的には

国内総生産(GDP)と真の進捗指標(GPI)

- GPI : GDPの消費支出額を基本に経済・社会・環境側面から人々の生活がどの程度順調かを24指標で測る「福祉指標」
- 1950-2003年の17カ国の一人当たりGPIは1978年以降停滞傾向



Kubiszewski, Robert Costanza, Carol Franco, Philip Lawn, John Talberth, Tim Jackson, Camille Aylmer, Beyond GDP: Measuring and achieving global genuine progress, Ecological Economics, 2013, Pages 57-68, ISSN 0921-8009, https://doi.org/10.1016/j.ecolecon.2013.04.019.

### ロータリー財団重点分野「環境」の目標Ⅲ.

- I. 種から景観規模の保護にいたるまで、自然と生物多様性の保全。
- II. 温室効果ガスの排出の削減や回避、または天然の二酸化炭素吸収源への吸収や貯蔵を通じた気候変動の緩和。
- III. 繁栄する自然体系と共存可能な人間の社会的福祉を維持するための、エコロジカルフットプリントがより少ない持続可能で適応可能な助長生計。
- IV. 周縁化されたコミュニティに対して偏った影響を及ぼす社会環境問題に取り組むことによる、環境の公平性の強化。

自然環境も人間社会も豊かに生活できる  
持続可能な経済を実現すること

### ロータリー財団重点分野「環境」の目標Ⅰ.とⅢ.

- I. 種から景観規模の保護にいたるまで、自然と生物多様性の保全。短期
- II. 温室効果ガスの排出の削減や回避、または天然の二酸化炭素吸収源への吸収や貯蔵を通じた気候変動の緩和。中長期
- III. 繁栄する自然体系と共存可能な人間の社会的福祉を維持するための、エコロジカルフットプリントがより少ない持続可能で適応可能な助長生計。
- IV. 周縁化されたコミュニティに対して偏った影響を及ぼす社会環境問題に取り組むことによる、環境の公平性の強化。

豊かになってたくさん物を生産しているたくさんサービスを享受しているが、実際の福祉や豊かさはだいたい 1980 年代に保たれている。一定程度の経済成長を得れば、それ以降は十分なのではないか、ある程度の豊かさをキープしていくという経済指標を提唱しています。

私はこのエコロジー経済学で、実際どのように国際社会で今後地球環境の限界を超えずに社会的に豊かな生活をしていくかというところの分析手法と概念を学んでいきたいと思っています。

この分野はロータリー財団の重点分野である「環境」にもマッチしております。この「環境」分野の目標は 4 つあるのですが、そのうちの 3 つ目「繁栄する自然体系と共存可能な人間の社会的福祉を維持するための、エコロジカルフットプリントがより少ない持続可能で適応可能な助長生計。」を実現することを目標に掲げています。私なりの解釈として、自然環境も人間社会も豊かに生活できる持続可能な経済を実現すること、これはまさに私のやりたい事と合致していると思っています。具体的に今すぐこの目標に貢献できるかは分かりませんが、これを実現するために何が必要かということをお勉強さ

せて頂ければと思います。

### ●将来のビジョン

最後にこれは将来やりたいことを書いておきます。計画通りにいくかは分かりませんが、短期中期長期とありまして、短期のビジョンとしては、これまで経営コンサルとして第三者の立場として経営にアドバイスさせて頂いていたのですが、これをもう少し環境の現場の最前線、環境 NGO や環境コンサルで働いて自然と生物の多様性が喪失されるのを食い止めるような現場で働きたいなと思っています。中長期的には国際機関で GDP に代わる新しい豊かさに関する指標の導入したり計測に関する政策提言に携わっていきたいと思います。

長期的には、やはり日本に戻って生活したいと思っております。日本では木材や地熱発電といった非常に豊かな資源があるにも関わらず、やはり経済合理性が低いということで利用されていない資源がたくさんありますのでそういったものを活用した地域経済の活性化に携われれば良いなと思っております。このように環境側面から持続可能な社会の実現に貢献したいと思っております。これはロータリー財団重点分野「環境」の目標ⅠとⅢに合致しています。目標Ⅰ種から景観規模の保護にいたるまで、自然と生物多様性の保全。とありますので環境 NGO で働けば目標Ⅰにも貢献できると思います。

### 将来ビジョン

- ・短期 (1~3年): 環境NGOや環境コンサルで途上国の生態系保全の現場で働くこと
- ・中期 (5年~): 国際機関でGDPに代わる豊かさの指標の導入・計測に関する政策提言に携わること
- ・長期 (20年~): 日本における未利用資源、土地を活用した地域活性化、持続可能な地域経済の実現に携わること

環境側面から持続可能な  
社会の実現に貢献したい



### ●留学先のホストクラブの紹介

最後に留学先ホストクラブの紹介を少ししたいと思います。私もまだネットの情報しかありませんが、ロンドンの Canary Wharf Rotary Club

## ホストクラブ Canary Wharf Rotary Clubの紹介

### ・活動内容：

- ・ National Health Service(NHS) 献血イベントでの活動
- ・ ロンドンマラソンでのボランティア
- ・ ウクライナRCとの交流 など



Canary Wharf Rotary Club Facebook page

が私のホストクラブになりました。

CaranyWharf はロンドン中心部より少し右に位置しておりまして、NHS、イギリスの健康保険ですが NHS 主催の献血イベントで活動をされていたり、毎年ロンドンマラソン等のマラソンの水配りをボランティアされていたり、ウクライナ RC とも交流されているようです。

私は9月7日に出発して8日到着する予定

ですがカウンセラーのカレンさんからは9日に例会があるので体力があれば来てくださいとお声がけ頂いたのでぜひ行きたいと思いきし、留学中もこれらのイベントに精力的に参加していきたいと思っております。最後になりましたが大学院留学を実現させてくださった横浜旭RCの皆様、国際ロータリー第2590地区の皆様にお礼を申し上げます。初めて横浜旭RCに来させていただいたのは今年の1月末でしたが、田川会長はじめ非常に温かく面接してくださいました。精一杯勉強・交流に励む所存ですので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■次週卓話 9/18

夜間移動例会 点鐘18:30 サンハート B  
職業卓話 日向会員

## 2024-25年度 横浜旭ロータリークラブ

### 第7回(臨時) 理事役員会 報告書

日時 令和6年 8月 28日(水)  
例会終了後  
場所 例会場(サンハート)

出席者  
北澤 正浩 安藤 公一 五十嵐 正 岡田 隆  
佐藤 真吾 田川 富男 新川 尚 関口 大樹  
欠席者  
市川 慎二

#### 【審議事項】

##### 1. イタリア防災講演会の準備について

イタリア防災講演会を五十嵐会員が中心となって準備を進めているが、今後の運営について協力者が必要となった。

・安藤、関口、北澤の3名が、講演会開催に向けて協力することとなった。

##### 2. 夜間例会における食事について

弁当のゴミについて、回収が可能な業者を探しているが、未だ見つからない。  
(ゴミを持ち帰る条件では、大半の会員は賛同しない)

- ・今後は弁当に拘らず、例会可能な条件を満たすホテルのレストラン等も候補として探す。
- ・会員からも情報を得る。